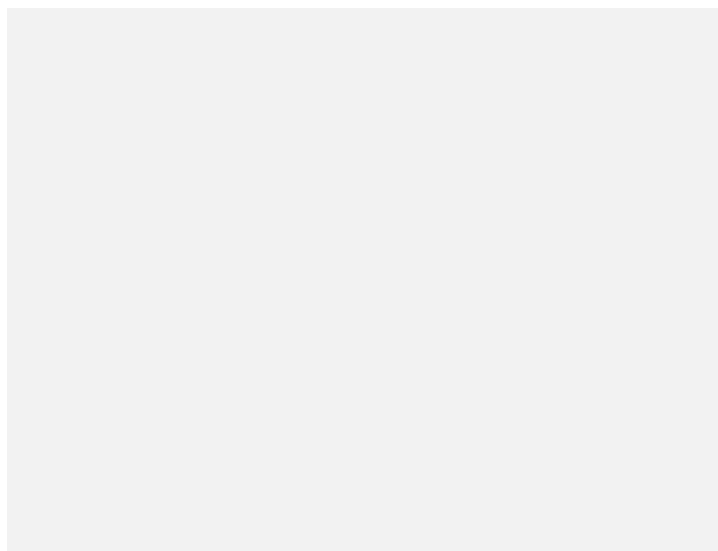


1. 建築を見る／考える視点



- | | |
|---|---|
| 1. 今日 ^{きょう} のテーマは、「建築 ^{けんちく} と風土 ^{ふうど} 」です。 | 1. Today, let's talk about 'architecture and climate.' |
| 2. 当たり前 ^{あたりまえ} のことですが、建築 ^{けんちく} は必ず ^{かなら} どこかの土地 ^{とち} の上に ^{うえ} 建つ ^た ので、その土地 ^{とち} の様々な ^{さまさま} 条件 ^{じょうけん} に合った ^あ 建築 ^{けんちく} がそこには ^{しこ} できます。 | 2. You know, architecture is built on the ground. And it is satisfied with all kinds of the regional condition. |
| 3. そこで ^{ちゆうもく} 注目 ^{ちゆうもく} したいのが、「風土 ^{ふうど} 」という ^{してん} 視点 ^{してん} です。 | 3. Therefore, we focus on 'climate.' |
| 4. その土地 ^{とち} の気候 ^{きこう} や地形 ^{ちけい} といった ^{しぜんかんきょう} 自然環境 ^{しぜんかんきょう} 、そしてそこで暮らす ^く 人々 ^{ひとびと} の生活 ^{せいかつ} が、その地域 ^{ちいき} で生み出される ^う 建築 ^{けんちく} にも多分 ^{たぶん} に影響 ^{えいきょう} を与え ^{あた} ているといえます。 | 4. It would appear that the architecture is affected by the natural environment like the climate and the landform, and the life style of the people living in the region. |
| 5. そこで、ここでは ^{けんちく} 建築 ^{けんちく} の代表 ^{だいひょう} として特に ^{とく} 住まい ^す を取り上げながら、 ^{けんちく} 建築 ^{けんちく} と ^{ふうど} 風土 ^{ふうど} といった ^{してん} 視点 ^{してん} から ^{けんちく} 建築 ^{けんちく} を見て ^み いきたい ^{おも} と思います。 | 5. So, we pick up house as the representative of architecture, and study about architecture wish a view to architecture and climate. |
| 6. まず ^{ほんだい} 本題 ^{ほんだい} に入る ^{はい} 前に、 ^{けんちく} 建築 ^{けんちく} を見る ^み 視点 ^{してん} 、 ^{かんが} 考える ^{かんが} として ^{してん} どのような ^{してん} ものがある ^{かんが} のかを、 ^{おもしろ} おもしろい ^{おもしろ} しておきたい ^{おも} と思います。 | 6. Before we come to the point, let's review the views we think about architecture. |
| 7. まずは ^{よう} 「用 ^{よう} ・強 ^{きょう} ・美 ^び 」です。 | 7. First, 'utilitas, firmitas, venustas.' |

8. 用は使い勝手や機能、強は様々な条件に負
けずにちゃんと建っているということ、美は
文字通り美しいということで、ヴィトルヴ
ィウスは『建築書』で、この三つの要素が建築
に必要だと述べています。
9. 次に、様々な学問分野からの視点で見ても
いいと思います。
10. 敷地や周辺環境、時代性や機能などを
総合的に考える計画・意匠、建物の構成や
しくみを考える構法、木造やR C造などと
いった構造形式、材料、どうつくるかとい
った生産方式、空調や照明などの設備、と
いったものがあります。
11. また、対象も様々で、建物だけでなく、屋外
環境や都市・農村環境、国土計画も建築の
対象です。
12. さらに、少し見方を変えると、その成り立ち
についても違った視点があります。
13. まず、住宅や学校、病院といったビルディ
ングタイプはその物理的成り立ちを見てい
るといえます。
14. また、その形態や景観としての見方、その
場所がどういった場所・スペースになっている
のかといった視点は美学的、総合的対象と
して建築を見る視点となります。
15. 他にも、歴史や経済など、様々な観点で建築
を捉えることができます。
8. utilitas means usability and utility,
firmitas means stable against several
condition, and venustas means beauty in
the literature. Vitruvius wrote into his
book 'De Architectura' that these
elements is absolutely imperative for
architecture.
9. Next, let's see about field of academic
study.
10. Planning and Design which consider all
the various factors like site, surrounding
environment, needs of the age, and
function together, Construction Method
which think about composition and
structure, Construction form like
half-timber, reinforced concrete structure,
and so on. Material, Manufacturing
System which is how to build, building
utility like air conditioning and lighting
etc.
11. And, there is also various object such as
outdoor environment, environment, city
and rural environment, and also land
planning further to architecture.
12. And that, if you change stand point, there
is also another view point about the whole
shebang.
13. First, building type like house, school,
hospital and so on, see the physical
scheme.
14. And, the view point which see the form
and aspect and the quality of the space is
also the aesthetic and holistic angle.
15. In addition, history and economy and so
on, are also viewpoint to see architecture.

キーワード(Keywords)

- ・用・強・美
- ・ヴィトルヴィウス
- ・建築書
- ・構法
- ・木造
- ・RC造
- ・鉄骨造
- ・工法
- ・施工

日本語解説

文1 「風土」

気候・地勢など、その土地の自然条件を言います。

文2 「生み出される」

「生み出す」の受身形。新しいものを作り出すという意味です。「産み出す」とも書きます。

文6 「おさらい」

教わったことを自分でくり返し練習することを言います。類義語として「復習」という言葉があります。

文8 「使い勝手」

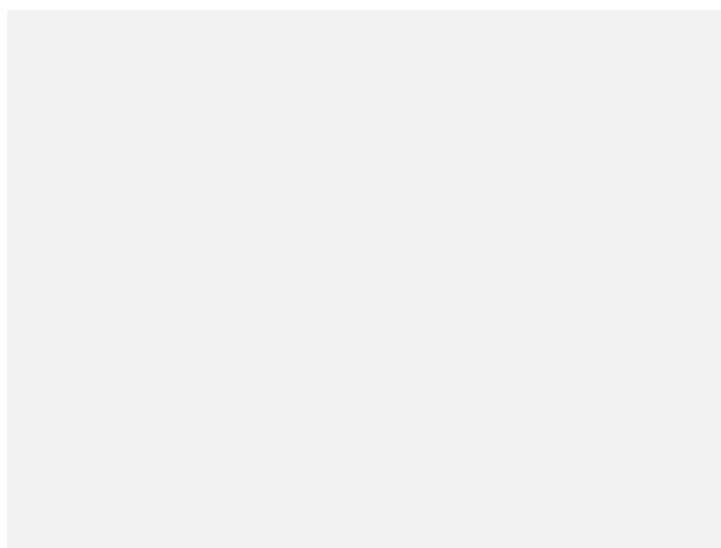
使ったときの便利さという意味です。

例：使い勝手が良い・悪い

文10 「意匠」

「デザイン」の意味です。文章語。

2. 建築と風土



1. そこで、改めて建築と風土という視点についてです。
1. Let's focus on 'Architecture and Climate', again.
2. 建築は元来、それぞれの土地に住む人々によって、その土地その土地で得られた素材を使い、さらにはその素材を活かしながら地域の気候条件を克服してつくられてきました。
2. Architecture was primitively built to get over local climate in the district by local people with local material.
3. 今のように人や物が世界中を歩きかうようなことは昔はなく、だから、建築はその土地に住む人が地場の素材を使ってつくるということが当たり前でした。
3. Because we couldn't transport people and thing at all, it was nothing special in the past.
4. また、その中で、おのずと地域の風土に合った住まい・建築が人々によって考えられ、つくられていました。
4. And, in the situation, they think and build the houses and architecture suited to the climate in the district.
5. そんな状況が変わり始めたのは、19世紀頃で、主に工業製品で使われ始めた鉄やコンクリート、ガラスといった材料が建築にも使われ始めます。
5. During the 19th century, such a situation was begun to change. The material such as iron, concrete, and glass which was used in industrial products at that time.
6. 水道や電気、ガスといったインフラの整備が進んだことも後押しとなり、これらの工業化された材料を用いた近代建築は、「インター
6. Thanks to buck up of Infrastructure improvement such as water, electric, and us utilities, modern architecture which

ナショナルスタイル」の建築として世界各地でつくられるようになります。

7. 現在の日本の都市を見れば、いかにそういった材料で街が作られているか、ということがよくわかったと思います。
8. ただ、そういった状況でも、日本では木を使った木造の住宅が一般的で、今でも約4割の住宅が木造でつくられており、同様に世界各地でも、藁や葦、竹や土など、様々な材料が使われた伝統的な住宅が、今もなおつくられています。
9. また様々な材料という観点でみると、そういった昔ながらの材料の一方で、近年ではアルミや紙など、これまでは建築に用いられなかった新たな材料を建築に取り入れていくこととする試みもあります。
7. You know how a city is made of such materials by looking for the Japanese city now.
8. However, timbered house which made of woods is most popular in Japan, and we build about 40 percent of houses of wood. Equally, traditional houses made of several materials such as straw, reed, bamboo, soil and so on are still built across a spread of countries.
9. And, if we see from several material, we try to use materials which not used in architecture such as aluminum and paper recently while traditional architecture are built.

キーワード(Keywords)

・近代建築 ・インターナショナルスタイル ・インフラストラクチャー

日本語解説

文1 「改めて」

(以前に問題になった事柄を) もう一度取りあげてを言います。

「別の機会に」という意味で用いられる場合もあります。

文2 「克服」

努力して困難に打ち勝つことを言います。

文3 「行き交う」

行ったり来たりすることを言います。

文3 「地場」

「地元」のことを言います。つまり、自分の住んでいる土地や地域のことです。

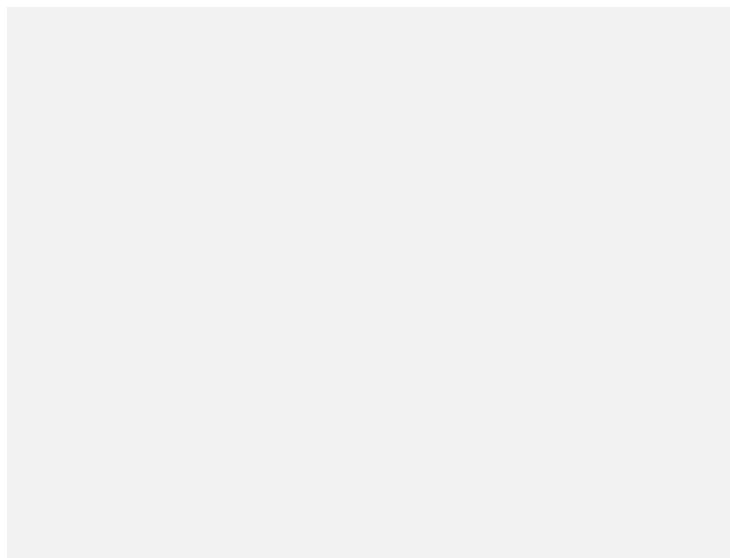
ぶん 文6 「後押し」

てだす 手助けすることを言います。るいぎご 類義語に「後援」こうえんという言葉ことばがあります。

ぶん 文7 「いかに」

「どのように・どんなふうに」という意味いみです。

3. 世界の住まいー材料と風土



『SD 選書 184 建築家なしの建築』 p.15

1. ではここで、そういった世界の様々な地域の住まいを見てみたいと思います。
1. And now, let's look at such houses built in the regions in the world.
2. まずこれは、アフリカのブルキナファソというところにある住まいですが、この地域の住まいは、土を使ったなめらかな曲線の壁でできています。
2. First, these are houses in Burkina Faso, Africa. They have smooth curvilinear wall made of soil.
3. 雨がほとんど降らないという気候条件だからこそできた住まいであり、日本をはじめとする多くの地域では、絶対にできない家だといえます。
3. They are possible to inhabit because it is few rain in this region, and a house like this can't be built in Japan and other almost all district.
4. これは、スペインにある石板屋根の家です。
4. They are the house whose roof are made of stone slab.
5. この集落では、どの家も近くで手に入る黒い石板で屋根がふいてあります。
5. At this village, every house has a roof with the black slate which is available near there.
6. これは、中国にある、ヤオトンと呼ばれる地下住居です。
6. This is subterrane called Yao ton in China.
7. こういった地下住居の作り方には大きく分けて2種類あります。
7. How to make such subterrane can be divide into greatly two kinds.
8. まず、横穴式と呼ばれるもので、起伏のある
8. At first, the subterrane called a cave type

- 場所^{ばしよ}で崖^{がけ}になっている部分^{ぶぶん}に洞窟^{どうくつ}のように横穴^{よこあな}をあけ、そこを住まいとしたものです。
9. そしてもう一つは下枕式^{かちんしき}というもので、平らな地面^{ひらなぢめん}に大きな穴^{あな}をあけ、そこを起点^{きてん}としてさらに横方向^{よこほうこう}に穴^{あな}を掘り、その横穴^{よこあな}を住まいとしたものです。
10. 先に掘った大穴^{おほあな}は中庭^{なかにわ}のような場所^{ばしよ}で、家^{いえ}の中^{なか}に入るにはこの中庭^{なかにわ}からアクセスすることになります。
11. この写真^{しゃしん}は、下枕式^{かちんしき}のヤオトンですね。
12. これは、ハワダンと呼ばれる風受け^{かぜうけ}を持った、パキスタンにある家^{いえ}です。
13. ハワダンは街^{まち}の近く^{ちか}を流れるインダス川^{がわ}から吹く冷たい風^{かぜ}を受け、その空気^{くうき}を屋内^{おくない}に送りこむ役割^{やくわり}をしています。
14. 天然^{てんねん}のエアコンのようなものです。
15. だから、写真^{しゃしん}でもわかるように、どのハワダンも同じ方向^{おなじほうこう}を向いています。
16. これはミャンマーにある、湖^{みずうみ}の上に建つバンブーハウス^{うえ た}、竹^{たけ}でできた家^{いえ}です。
17. 水上住宅^{すいじょうじゅうたく}のタイプは主に2通りあるのですが、一つはこのバンブーハウスのように、川底^{かわぞこ}や湖底^{こてい}に杭^{くい}を打ち、その上^うに家^{いえ}をつくるタイプで、湖^{みずうみ}の水量^{すいりょう}が少ないときには、写真^{しゃしん}のように宙^{ちゆう}に浮いたような状態^{じょうたい}になります。
18. ちなみにもう一つは、家^{いえ}自体^{じたい}を船^{ふね}のように水面^{すいめん}に浮かべ、いかりやロープで固定^{こてい}するタイプです。
19. この家^{いえ}に住む人は、湖上^{こじょう}に浮き畑^{う はたけ}をつくって作物^{さくもつ}を育てたり、水草^{みずくさ}や魚^{さかな}をとったりす
- is the house which scrapes out a cave in the cliff part of ups and downs area.
9. And the other one, called the lower pillow type, is made by scraping out a big hole in the flat ground and digging the hole more in the cross direction from there. The hole in the cross direction is the house.
10. When the big hole which dug earlier is a place such as the courtyard. When you enter the house, you access through it.
11. This photograph is lower pillow-style of Yao ton.
12. This is a house in Pakistan with the wind tray called hawadan.
13. hawadan play the role to catch the cold wind from the Indus in the neighborhood and sends the air into the indoor of houses.
14. This is such as a natural air-conditioner.
15. So, all hawadan turns to the same direction like this photograph.
16. This is a bamboo house built on a lake in Myanmar.
17. The type of such water house is two ways mainly. The first type is made by hitting the stake to the bottom of a river or a lake and making a house on the top like this bamboo house. When there is little quantity of water of the lake, the house become floating in the air apparently like a photograph seen.
18. By the way, the other is the type made by floating the house in itself on the surface of the water like a ship, and fixing it with an anchor and a rope in the bottom.
19. A cockboat is necessary for life of the people living in this house because they

- るため、生活上、小さな船が欠かせません。
20. これは、モンゴルのパオと呼ばれる移動式住居です。 20. This is a mobile house called a pao of Mongolia.
21. 彼らは家畜と共に遊牧生活を送っているため、このような折りたたみ式の家に住んでいます。 21. Because they spend a nomadic life with their domestic animals, they live in such a folding house.
22. これは、アメリカのニューメキシコ州で見られる、ストローベイルハウスという藁でできた家です。 22. This is a house called the straw bail house which is made of the straw in New Mexico, State of America.
23. 藁はブロック状に固められ、写真のようにそれを積み上げていくことで家の形を作り、最後に表面に粘土・漆喰を塗って全体を固めることで完成します。 23. The straw is hardened in the shape of a block and makes the form of the house by piling it up like a photograph. Finally, you daub clay and plaster on the surface to strengthen the whole and complete it.
24. 最後に、今まで見てきたような地域に根付いた住まいとは違いますが、こんな材料でも建物はつくれるという例として、紙でできた建築を紹介します。 24. Finally, this is different from the local house that we saw before now, but introduce a architecture made of the paper as the example of the one with different materials.
25. これは、紙を筒状に成形した紙管と呼ばれるものを構造物としたもので、坂茂という建築家の一連の作品に見られます。 25. This is the building which framed by the paper pipe as a structure which molded paper in the shape of a pipe. paper pipe is seen in a series of works of the architect, Shigeru Ban.
26. 紙管は紙であるため、解体後にはまた再利用が可能で、そのため、この紙管を使った建築は災害時の仮設建築に適しており、実際に坂茂によって実践されています。 26. Because paper pipe is made of paper, you can reuse after the dismantling. Therefore, the building which this paper pipe was used for is suitable for a temporary architecture made at the time of the disaster, and it is really practiced for it by Shigeru Ban.
27. 以上のように、世界には本当に様々な材料を使った様々な住まいがあります。 27. As above, there are the various houses which used really various materials for in the world.

キーワード(Keywords)

・構造体 ・坂茂

日本語解説

ぶん 文3 「～こそ」

前に来る言葉を特に強調したい場合に使います。

ぶん 文3 「～をはじめとする」

「～を第一に」という意味です。「～」は代表的なものを表します。「～をはじめ」という言い方もあります。

ぶん 文5 「手に入る」

自分の所有となることを言います。他動表現は「手に入れる」です。

ぶん 文8 「起伏」

高くなったり低くなったりすることを言います。

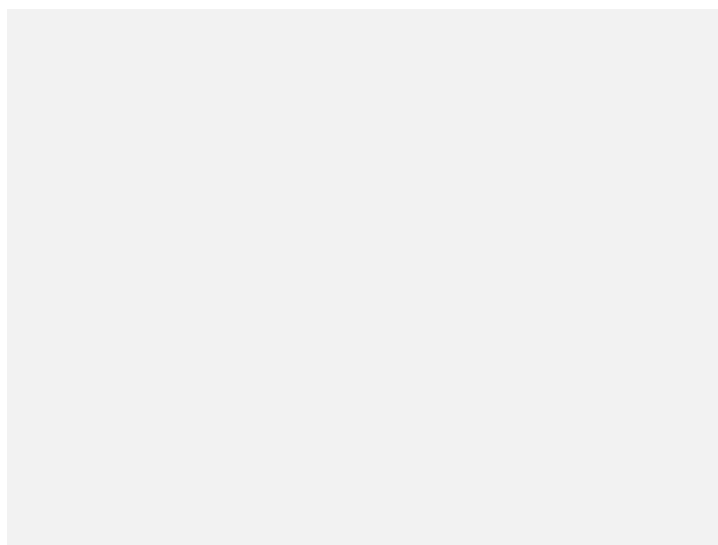
ぶん 文18 「ちなみに」

前に述べた事柄に、あとから簡単な補足などを付け加える場合に使います。類似表現として「それに関連して」「ついでに」などがあります。

ぶん 文26 「～に適している」

条件などがうまく当てはまることを言います。

4. 日本と欧州の建築－近代以前



1. ではここからは、さらに日本とヨーロッパの建築に焦点をあて、見ていきたいと思えます。
1. And now, we focus on Japanese architecture and European one.
2. まずは、鉄やコンクリートの登場する前となる近代以前についてです。
2. First, let's know about architecture before modern age when iron and concrete appears.
3. まずヨーロッパの建築の特徴としては、非常に重厚感のある閉鎖的な壁があります。
3. At first, the characteristic of the European building is an unsociable wall with the very solid feeling.
4. これは、地盤の関係でヨーロッパでは石が多く取れることが関係していて、それで構造材として石や煉瓦を用いた組積造が普及していたためです。
4. Because they could take a lot of stones in the Europe concerning the ground, masonry construction used a stone and a brick for as structure materials spread.
5. このため、積まれた石にどう窓をあけるかという、壁を基本とした空間構成になっています。
5. On this account the European building is produced in space constitution on the basis of the constitution of the wall how open a window to a stone piled up.
6. 次に日本です。
6. Next, talk about Japanese architecture.
7. これは日本を含めたアジア圏で比較的共通することですが、木を使った開放的な構成が特徴です。木を構造材として用いるため、
7. Japanese architecture is produced in frame structure such as the Japanese convention construction method because

基本的には日本の在来構法のように軸組みの構造になります。

8. そのため、ヨーロッパとは違い、組まれた骨組みに対してどのようにして壁や建具を入れていくか、という構成の仕方になっています。
9. この二つの写真を見比べると、その違いがはっきりとわかると思います。
10. これは、ル・トロネ修道院というロマネスク期の建築の廊下部分の写真です。
11. 壁が非常に分厚いので窓からも外の風景はあまり見えず、暗い中に光が差し込む、洞窟の中のような空間になっています。
12. これは、奈良県にある慈光院書院で、江戸時代に建てられたものです。
13. 視界を遮るのはほぼ柱のみのため非常に開放的で、額縁のように風景が切り取られ、庭や遠くの山並みが望めます。
14. このように、伝統的なヨーロッパの建築と日本の建築は、その材料の違いが影響し、構成の基本的な部分から異なっています。

we use woods as structure materials.

8. Therefore, unlike the European building, they are made in a way of the space constitution how put walls and housing parts in the framework.
9. I think that you understand the difference clearly if you compare these two photographs.
10. This is a photograph of the corridor part of the le Thoronet monastery, the building of the Romanesque period.
11. Because a wall is very thick, we can't see the outside scenery from a window very much. There is the space such as the inside of the dark cave where light comes in inside.
12. This is Jiko-in Temple study in Nara, built in the Edo era.
13. Because a thing shutting out the view is almost only a pillar, this is an very open space. The scenery is cut like a frame and we can see a garden and a far-off mountain range.
14. In this way, the difference of the materials influences it, the Japanese traditional architecture is different from a European one from a basic part of the space constitution.

キーワード(Keywords)

- ・組石造
- ・煉瓦造
- ・在来構法
- ・軸組構造
- ・建具
- ・ロマネスク
- ・書院

日本語解説

ぶん 文7 「(アジア) 圏」

いってい はんい き
一定の範囲を指します。

れい ごうかくけん しゅとけん
例: 「合格圏」 「首都圏」

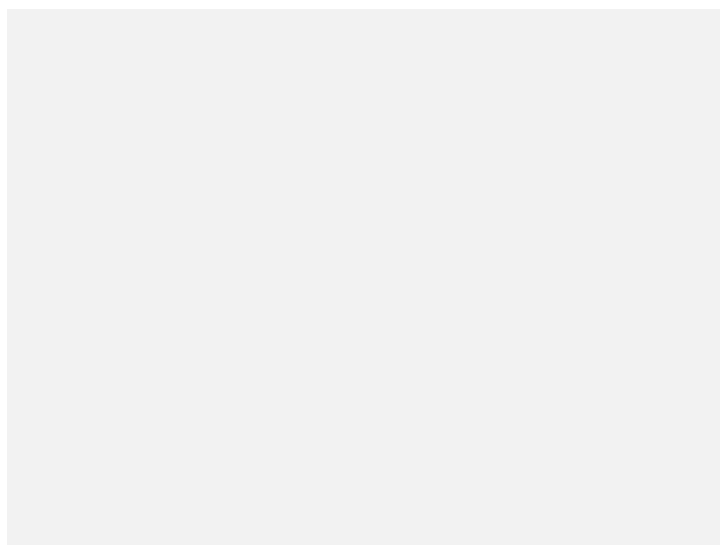
ぶん 文7 「在来」

いま までどおりのことを言います。

ぶん 文13 「山並み」

やま なら やま い
山が並んでいること、またその山を言います。

5. 日本と欧州の建築－近代以降



『改訂版 近代＝時代のなかの住居』 p.65

1. 日本とヨーロッパでは、それぞれそういった特徴を持った建築がつくられていたわけですが、近代になり登場したインターナショナルスタイルとしての建築が、その後広まっていくことになります。
 2. 20世紀に入り、建築家ル・コルビュジエは図のような柱と床で空間を構成する「ドミノシステム」を提案します。
 3. 石や煉瓦に代わり、鉄やコンクリートが構造材として使えるようになったことで、このようなシステムの提案が可能となりました。
 4. これは、日本人の立場から見れば、当たり前のように感じますが、それまでのヨーロッパは壁が建築の大前提でしたから、壁がなくても建築が建つ、ということは非常に斬新なことでした。
1. In Japan and the Europe, a characteristic building has been made each other, but a building as the international-style appeared in modern age will spread out afterwards.
 2. The 20th century begins; architect Le-Corbusier suggests "the domino system" which constitutes space by pillars and floors as shown.
 3. Because iron and concrete came to be usable as structure materials in substitution for a stone and a brick, the suggestion of such a system was enabled.
 4. Judging from a Japanese viewpoint, this system is looked like natural constitution. But, it was very novel that a building was built without a wall, because wall was basics of the constitution of the building earlier times in the Europe.

5. さらにコルビュジエは、このドミノシステムに加えて、これからの建築のあり方を提言する、「近代建築の5原則」を発表します。
 6. まず、自由な平面。これは壁が構造から開放されることで、壁の構成から柱の構成となり、壁は間仕切り壁として自由に配置することができるということを言っています。
 7. 次に、自由な立面。壁が構造から開放され、ぐるっと周囲を壁で囲う必要がなくなるため、自由に立面が構成できるということです。
 8. 次に、ピロティ。これも柱の構成をとることで、一階には壁のない屋外空間が確保できるということです。
 9. これを用い、コルビュジエは1階部分を公共空間として街に開くことを提案します。
 10. 横長の窓。これは自由な立面にも関連するのですが、柱による骨組構造によって、それまでの重厚な壁を構造とした近代以前の建築にはできなかった、横長の窓を作ることができる点を言っています。
 11. そして屋上庭園。ドミノシステムによって可能となる陸屋根を用いて、屋根の上にも庭を作るといふ、新たな屋外環境の提案です。
 12. このように、コルビュジエを始め、フランク・ロイド・ライトやミース・ファン・デル・
5. Furthermore, following this domino system, Le-Corbusier announces "five principles of the modern architecture" to propose the ideal method of architecture in the future.
 6. At first, free plane. He insists that because walls are relieved of structure, the constitution of the wall replaces the constitution of the pillar, and we can post the walls freely as partitioning walls.
 7. Next, a free vertical plane. We can constitute a vertical plane freely because a wall was relieved of structure, and it is not necessary to surround circumference by walls.
 8. It is a piloti next. This is that we can secure outdoor space in the first floor without the wall by the constitution of the pillar.
 9. With this way of thinking, Le-Corbusier suggests to make the first floor part the place as public space for the city.
 10. An oblong window. This suggestion is related to a free vertical plane. He says that we can make the oblong window which is not possible for a building framed by a solid wall as structure before the modern times to make because of the constitution of the pillar that is frame structure.
 11. And it is a rooftop garden. This is suggestion of new outdoors environment to make a garden on the roof by a flat roof which becomes possible by a domino system.
 12. In this way, the modern architecture pushed by Frank Lloyd light, Mies van

ローエによって押し進められた近代建築は、
世界中の建築に影響を与え、現代の建築の
基礎を築いています。

der Rohe and Le-Corbusier affects
buildings around the world and builds the
basics of architecture now.

キーワード(Keywords)

- ・ル・コルビュジエ
- ・ドミノシステム
- ・近代建築の5原則
- ・自由な平面
- ・自由な立面
- ・ピロティ
- ・横長窓
- ・屋上庭園
- ・陸屋根
- ・ミース・ファン・デル・ローエ
- ・フランク・ロイド・ライト

日本語解説

文3 「～に代わり」

あるものがするはずのことを他のものがするという意味です。「に代わって」の形で用いられる場合もあります。

文4 「大前提」

ある物事が成立する時に、求められる重要な条件を言います。

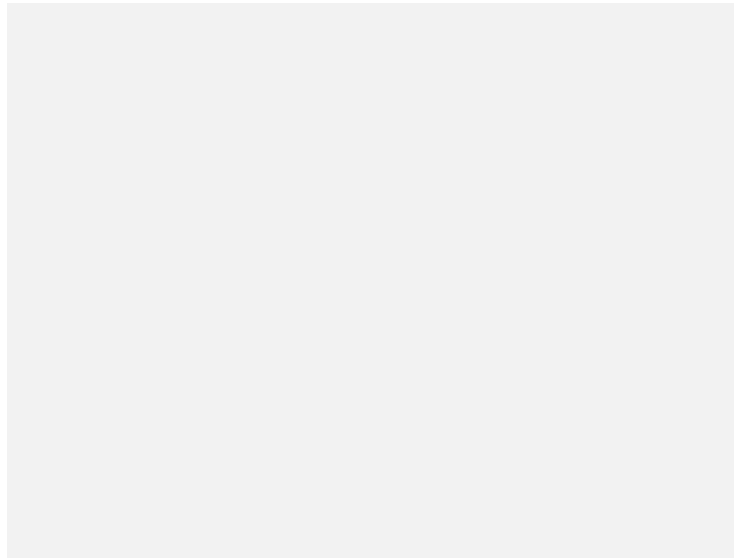
文5 「～に加えて」

「～」だけではなく、さらに別の物事が付け加わるという意味です。「～に加え」の形で用いられる場合もあります。

文10 「重厚」

人や事物の性質・状態などが重々しく、落ち着いたことを言います。

6. 日本と欧州の建築－建築・空間の概念



中央下：個人で撮影した写真、各種図版：『続・街並みの美学』 p.5

1. こうして近代以降、世界各地でコンクリート・鉄・ガラスでできた建物がつくられ、画一的なスタイルが広まりましたが、そういった中でも、かつての地域独特の建築の構成は根強く残っており、またその影響を受け、地域によって人々による建築や空間の捉え方も様々となっています。
 2. 再び、具体的に日本とヨーロッパについて見てみると、先程も述べたように、ヨーロッパの建築は壁が主体であったため、壁で切り取られた場所・領域を意識した空間構成がされていると言われています。
 3. このため、芦原義信は著書『続・街並みの美学』の中で、ヨーロッパの建築は「壁」の建築だと述べています。
1. In this way, after modern age, a building made of concrete, iron and the glass was made in many parts of the world, and the uniform style spread out. However, the constitution of a former local unique architecture is left firmly. In addition, under the influence, it is various by an area how to take over building and space.
 2. I take up Japan and Europe concretely once again. It is said to the European architecture that the space constitution is conscious of a place and a domain cut in the walls because a wall is the subject of the constitution in Europe.
 3. For this reason, Yoshinobu Ashihara wrote in his book, "zoku machinami-no-bigaku" that the European architecture is architecture of "the walls".

4. 一方、日本の建築はというと、同書において、「床」の建築だとし、床が場所や領域を示すものだとしています。
 5. 例えば、京都の川床のように、川の上に一枚の床を敷くだけで、そこは人がいる場所として認識されます。
 6. 同じく、花見の時には、桜の木の下にブルーシートを一枚敷くだけで、いつもはただの公園であったり河原沿いの道であったりする場所が、宴の場になってしまいます。
 7. こういった感覚は、壁で領域を意識するヨーロッパの人々にはないものです。
 8. さらに、日本人ははっきりとした壁がなくとも、領域の違いを意識の中で区別することができます。
 9. 例えば、4本の竹をたてた内側に白砂を敷き、その周囲に注連縄をまわし、お祓いをする。
 10. これだけでその内側は不浄なものが取り除かれた神聖な領域として扱われます。
 11. 他にも、暖簾や簾、屏風などを間に挟むだけで、その領域の違いを意識し、生活することができます。
 12. こういったこともまた、ヨーロッパの人々には考えられないことだと言います。
 13. 日本人の空間の捉え方には、やはり柱を基本とした昔からの日本建築の影響が強く見られ、また、ヨーロッパの人々についても同様に壁の影響が強いです。
4. On the other hand, the Japanese building assumes that it is the building of "the floor" in the same book. It is assumed that a floor shows a place and a domain.
 5. For example, such as a stream bed of Kyoto, you spread one piece of floor on a river, and we recognize there as the place where a person is.
 6. Likewise, if you spread one piece of blue seat under a cherry tree at the time of flower viewing, it becomes the place of the party even if there is normally a mere park or a place meeting on a way along the riverbank.
 7. This sense is few one for the European people who are conscious of a domain in a wall.
 8. Furthermore, the Japanese can distinguish the difference of the domain in consciousness without a clear wall.
 9. For example, you disperse sand inside of the four bamboo put up, take over a Shinto straw festoon in the surroundings, and you purify.
 10. Only in this, the inside is treated as the holy domain where a dirty thing was removed.
 11. In addition, if you put a noren, a bamboo blind and a screen, the Japanese can live being aware of the difference of the domain.
 12. It is also said that European people cannot understand this.
 13. After all, influence of Japanese building on the basis of the pillar from old days is strongly seen in how to take over space of Japanese people. In addition, it is said too

that the influence of the wall is strong
likewise about the one of European
people.

キーワード(Keywords)

・芦原義信 ・続・街並みの美学 ・壁の建築 ・床の建築

日本語解説

ぶん 文1 「画一的」

とくちょう 特徴も へんか 変化もなく、すべてが いちよう 一様である さまい 様を言います。

ぶん 文1 「かつて」

いぜん 以前 「むかし 昔」の意味です。

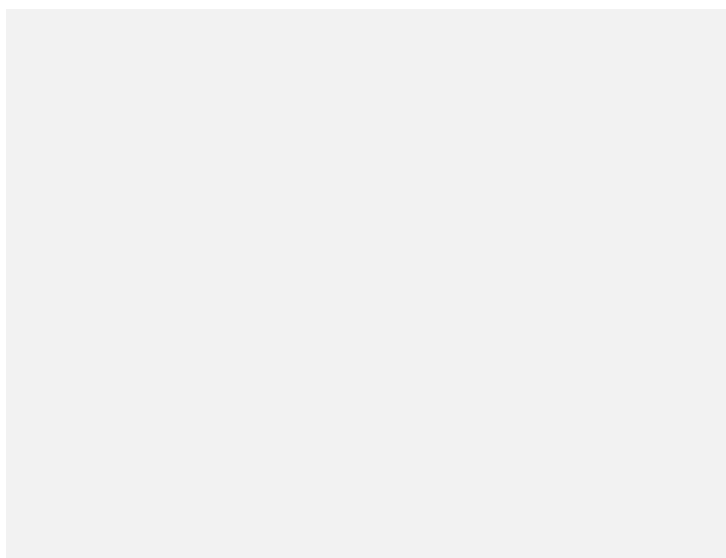
ぶん 文6 「ただ (の公園)」

「それだけ」 「それ以外はない」という意味です。

ぶん 文9 「お祓いをする」

かみいの 神に祈って、 つみ 罪や わざわい 災いなどを のぞき 除き去るとい 意味です。

7. 日本と欧州の建築－空間の構成



各種図版：『建築計画－計画・設計課題の解き方－』 p.18

1. この領域の考え方の違いは、住宅の空間構成を比較することからも見えてきます。
1. We can see the difference of the way of thinking of domain by comparing the space constitution of the house.
2. まず、日本の伝統的民家に見られるような構成は「続き間型」の空間構成だといえます。
2. At first, it may be said that constitution seen in a Japanese traditional private house is space constitution of "the models of continued rooms".
3. 左の平面図のように、畳の間が敷き詰められ、続き間としてつながっていくことで、空間に連続性が生まれます。
3. Like the left ground plan, the rooms of the tatami mats are spread all, and it forms a continuity of the space by ranging rooms.
4. そのため、日本のこういった住宅はふすまを開けて二つの部屋を一つの大きな部屋として使ったり、また、室と機能を固定しないため、あるときは家族団欒の場であったり、あるときは食事をする場所であったり、あるときは寝る場所であったりと、同じ場所でも様々な使い方をします。
4. Therefore, when you open a sliding paper-door, you can use two rooms as one big room in such a Japanese house. In addition, same room is possible to use several function because it does not make a room and a function agree. So, it is a place of the family pleasure of home life once, and it is the place that eats once, and it is the place that sleeps once.

5. このような空間構成は、一つの空間をどのように分けていくのか、という分割型の構成だと言え、また、明確に空間が分かれな領域的な考え方を基になされている構成だともいえます。
6. 一方、ヨーロッパや現代の日本の住宅は、「廊下型」の空間構成として解釈できます。
7. 居間などの公室、寝室などの私室は明確に分けられ、それぞれの部屋が廊下によってつながれることによって、一つの家として部屋の行き来ができるようになっています。
8. そのため、それぞれの部屋は独立性が高く、同じ家の中であってもプライバシーがしっかり確保されています。
9. このような空間構成は連結型の構成だといえ、また、単位空間的な、いわゆる、間取りする、という考え方がなされた構成だといえます。
10. このように、床を基本とするか壁を基本とするかで、空間の構成も大きく異なっています。
11. 今日の授業で見てきたように、その地域の風土というものは、その地域ごとに違った建築をつくりだすだけでなく、その建築・住まいで生活する人々の空間の捉え方や考え方、さらに生活自体にも影響を与えるものだといえます。
12. では、今日の授業は以上です。
5. It may be said that such space constitution is constitution of the division type thought that how separate one space. In addition, it may be also said that this constitution is an areal way of thinking that space is not divided definitely.
6. On the other hand, we can interpret Europe and the modern Japanese house as space constitution of "the corridor type".
7. The private room such as the bedrooms and the public room such as the living rooms are distributed definitely, and it comes to be possible to come and go the room as one house because each room is connected by a corridor.
8. So, it is high independence in each room, and privacy is ensured well even if they are in the same house.
9. It is said that such space constitution is constitution of the connection type. And, it may be said that this is constitution thought as unit spatial.
10. In this way, the constitution method of the space vary greatly whether a wall basics or a floor basics.
11. It may be said that the local climate is the element not only produce different construction architecture in every area but also affect how to take over the space and a way of thinking of the one, and more, life in itself whose lives in the building and house.
12. Then, that's all for today.

キーワード(Keywords)

・平面図

日本語解説

ぶん 文4 「こういった」

「こういう」「このような」「こうした」という意味です。

ぶん 文5 「明確に」

はっきりしていて、間違いのないことを言います。

ぶん 文11 「(その地域) ごとに」

「それぞれに」「おのおのに」という意味です。「そのたびに」「その都度」という意味で用いられる場合もあります。

例：電車は20分ごとにします。

ぶん 文11 「～だけでなく～も」

「両方とも」「どちらも」という意味です。話し言葉では「～だけじゃなく～も」とも言います。